

「共に生きる社会」の実現をめざして



風花祭閉幕後に集合する実行委員

ベトナム「ドック健診センター」開設式典 モンゴル「IUHW奨学金」制度を新設

第8回国際医療福祉大学学会学術大会

写真特集大学学

海外保健福祉事情

ルにおけ

モン

して活躍する人材が育成され、

健康・福祉分野の

モンゴ

説明した。 今回の奨学金設立に至

定地を視察するとともに、

今回の訪問では、両センター

0) 建設予

> ている大田原キャンパスなど他学部生のほか て宿泊先となる。また、同大学病院で実習 大学病院で臨床実習を行う際、通年に

いての協議を行

特集

モンゴル・中国での活動

進する上で

育成がチー療法士等の

ム医療を推

●ツォグゾルマー教育相と高木理事長

としてモンゴルを訪れた桂木鉄夫は私し、超党派の日本の国会議員団の団長代に日本・モンゴル関係正常化に尽力

かで、清水武則・前モンゴル特命の医療レベルの向上に貢献してきの義父にあたるご縁もあり、モン

モンゴ

支援の要請を受け、敷地内に設置されるれを契機に、本学が日本式の医療施設建築

施設を訪問

天然温泉大浴場などを備え、ホスピタリティに

とから湧出し、有機成分を多く含む温泉)の

心がけたサービスを提供する。

医学部生が2

年から国際医療福祉

わたっ

の食事、全国でも数少ないモー

ル泉(泥炭層な

完備、地元の新鮮素材を使った豊富なメニュー

も配慮している。また、全室フリ

W

生のために大きな机を配備して学習環境に

-ビスを充実し、各部屋とも広めの設計。

学

ム) など福祉面に配慮したサ

の障害者専

の部屋

きたな

ック検診センター

の建築設計支援を行っている。シセンターとリハビリテーショ

センタ

大使から医療協力のお話をいただき、かで、清水武則・前モンゴル特命全権

法士、

作業

師、

理学療

れる。 万円)

調印後、

高木理事長は

9

6

キャピタル・

ンドの幹部

あるベイジン・

療放射線技

ンゴルにお 理事長は、「モ

で、学士課程の学費(412万円・の学士課程を修了するのに必要な

するのに必要な費用 (薬学科は6年間)

21 20 年 5 月 開業 、

月に着工した

8 年 10

建設するもので 方景の施設を

9

を目指している

●ベイジン・キャピタル・ランドが建設するドック検診センター、リハビリ

(ユニバーサルルーム) など同ホテルはバリアフリー

原疎水太鼓」が披露された。

テーションセンターの予定地を視察する本学建築専門家たち

中国有数の

90万円)

ル円)、寮費(月4万円)なごぶ F用(年間 20万円まで)、生活費(月690万円)と教材費などの学術関連費

ベロッパーで国営不動産デ

いても看護

臨床検

診

ベトナム・ドック健診センター 開設式 典

健診センター 院と共同で、同院の隣接地に、ベトナム初の健診専門施設である「ドック 国際医療福祉大学はベトナム・ホーチミン市にある国立チョーライ病 開設式典が開催され、日越政府関係者、地元経済界 (HECI)」を開設した。チョーライ病院敷地内で

から約300人が出席した。 10月14日、

生労働省医務技監、駐ベトナム特命全権 資 瀧口登志夫社長 O事が開催されており、開設記念式典もそ を迎えたことから、 ほか、 高木邦 一環として挙行された。 したキヤノンメデ 病院のグエン・チュオン・ソン病院長 日本政府を代表して梅田邦夫・ ベトナ ム特命全権大使、鈴木康裕・厚 格理事長、 200以上の記念行外交関係樹立45周年 本プロジェクトに出 大友邦学長、 カルシス 邦学長、チョー、式典には本学 チ ムズの とを期待している」と述べた。続けて高よる医療施設への負荷軽減につながるこ イ病院のソン院長は「疾病の早期発見に

ム政治 芸能である獅子 大臣ほかホーチ エン・ヴィエット・ ヒン副首相、グム政府からはチ ン行政当局者 エン保健副 - ナム伝統

ユ



●記念撮影をする日越関係者

同プロジェク

/トの成功

という概念をベトナムに根付かせること界有数の長寿国となった。この予防医学病気を早期発見・早期治療することで世病気を早期発見・早期治療することで世 で、ベト・ や山王病院が提供している高品質な人間木理事長が「国際医療福祉大学三田病院とを期待している」と述べた。続けて高 に向けて決意を表明した。 れば幸いだ」と、 ックを実施するベト ナム国民の健康維持に貢献でき

が現実となった。日越の医療協力の裾野診を実現するとの高木理事長の強い思い 梅田大使は「ベトナ ムで日 本水準の健

調印式ーリーリーリーリーリーリーリーリーリーリーリーリーリーリーリー

学で留学

生

期待してい

る

と述べた。

UHW奨学金の

口

グ

本

ドック、リハビリセンター開発施設の

設計を支援

の医療水準の向上が図られることを

として医療、

学金」

与することを目的として「IUHW奨 モンゴルの医療福祉レベルの向上に寄 福祉部門の専門職員を日本で養成し、

もので、気象に奨学る

る

●地元メディアから取材を受ける高木理事長

場を視察した。

同商業開発は清源路地下

鉄駅隣

0

ご祝辞を賜り、君島 の関谷暢之様から

一郎那須塩原市議

0)

土地に延床面積 22万平

ご発声をいただいた。会議長より乾杯の

また、余興として郷

工芸能の「那須野が

施設に併設される医療センター

4る医療センターの建設現が建設中の総合商業開発

元選出県議会議員 佐藤幹雄会長、地

(首創置業)

京市郊外にベイジン・キャピタル・ラン

· が 9 月

12日の日程で、

中国

北

原市長、国際医療福祉大学病院後援会の 越しいただいた。祝賀会では、君島寛那須塩 賀会が10月27日、現地で開催され

内覧会

43人、竣工祝賀会155人の皆様にお

した「那須マロニエホテル」の内覧会・竣工祝

国際医療福祉大学病院の隣接地に開設

国際医療福祉大学の建築専門家グ

制度を新設することで合意した

モンゴル人学生を対象に、

文化・科学

スポーツ

(教育省) 医療、

象に奨学金 の学生を対 の学生を対 ル

健康

ゴル教育

国際医療福祉大学とモン

ウラン

10 月 30 日、

覚書の調印式を行った。

教育相と国際医療福

2 0

1 9 年

とし

7

人を

毎

長が出席。

高木

度から5年間実施

奨学金は4年間

ル市のモンゴル教育省で

大学の高木邦格理事 ツォグゾルマ

> 述べ、チュオる」と祝辞を も国際医療福祉大学の貢献は特筆に値すスの協力も数多く見られるが、その中では広く、政府間協力だけでなく民間ベー

臣らも同センエン保健副大 を示した。 ターへの期待 式典後、 グ 道

がチョーライ病路で 2 階部分

CT検査室やMRI検査室、内視鏡検査鋭の320列CTスキャナーを整備した 機器に加え、 などを見学した。 室、超音波検査室、 ク健診センターで内覧会を開催し き O口 ライ病院とつながって ッ カ ゆっ 参加者らは最新の医療 たりとした待合室や マンモグラフィ るド 最新 室

●ドック健診センター外観



ナム初の事業だ。

1 付

センタ

用意されてい ストランで調 で調 が 者にホテル・ニ 更衣室、受診 関心を示 ることに高 を完備した ドックの し高てい メニューはプラ RUNG TAM ナコ

ス(1000米゚゚)とゴールド 多数の質問が飛び交っていた。 があり、 どのような診療になるの コー え(60

脳会談をダナンで行った際にアン国家主席と安倍晋三首相に

相が日

「投資許

ダイ

ク

チャド

ディカルシス 寿命の延伸にム国民の健康 キヤノンメ 確信している」 貢献できると 鈴木医務技監は「ドック健診センタに移り、開設記念祝賀会を開催した午後からはホテルニッコーサイゴ 予防医学分野の知見を共有 の活動を通じて、

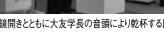
●挨拶をする高木理事長

● (左から) 高木理事長、グェン・チュオン・ソン病院長、チュオン・ホア・ビン副首相

社長は「装置されただけでなく、内装も茶色を基調に落ち着いなく、内装も茶色を基調に落ち着い 明るく美しい 佇まいにたくさんの陽射 テムズの瀧口

いさせていたなすばらしい悔 施設 施設となった。 しが入り込む ムで このよう お手 11





伝

[越首 ●鏡開きとともに大友学長の音頭により乾杯する日越関係者

3 IUHW Public Relations Magazine 2018.11

た。

見を共有し、ベトナ日本の経験に基づく

り、開設7-後からは

ッコ

(総務企画課

平野幸宏

医療福祉学院の現学院長の今泉勉・

療福祉学院の現学院長の今泉勉・国学長には学校法人高木学園福岡国際

語聴覚専攻科

(定員40人)を設置する

大卒者を対象に

人卒者を対象にした2年課程の言視能訓練の3学科(定員各40人)

新大学は医療学部に理学療法、

作業

合図書館、

海浜公園などがあり、

には市のランドマ

(高さ234*パ)、

福岡市博物館や総

International University of Health and Welfare

「福岡タワ

地のよさも魅力のひとつ

だ。この地区

「シー

サイドももち」にあり、

立

11-10

特集,大学之人(東京赤坂)、第13回潮風祭(小田原)、第14回月華祭(大川)写真,大学之人,第23回風花祭(大田原)、第3回成翔祭(成田)、第1回茜陵祭

理学療法学科卒業研究発表会/防災訓練、AED講習会

関連職種連携実習報告会/早良区健康まつりにブース出展

ナル)養成プランヤンパスを開催/文部科学省がん専門医療人材(がんプロフェッショネンパスを開催/文部科学省がん専門医療人材(がんプロフェッショ赤坂氷川祭に学生が参加/初めての総合防災訓練/大学院オープンキ

9

質の高い医療福祉専門職を育成する。

また新大学は福岡市有数の人気スポ

これらの施設で臨床・臨地実習を行いする。最新の医療機器が整備された、

らの研究、実習を強力にバックアップ高木病院などグループ関連施設が学生やグループ発祥の地・福岡県大川市の

行っていく。

丰

ャンパスに隣接す

る福岡山王病院

小田原

を開催

法部門大会開催ときめき国際学校受け入れ/第3回小田原保健医療学部同窓会理学療

東京赤坂

教育で学生一人ひとりに応じた教育を

各界のエキスパ 就任する。

・スパートがそろい、少人数教員らも知識と経験豊かな

た地域の・

代の

とな

n

職を養成する。

(九州地区広報部長

野間潔)

各キャンパスで市民公開講座を開催

平成30年度 年間成績優秀賞

.地域の中で、教職員が一丸となって景観と充実した都市機能を併せ持っ

タイ/オーストラリア/ベトナム/モンゴル韓国/シンガポール/インドネシア/カンボジア/マレーシア/イギリス/台湾、

金丸こども園/マロニエ苑・水郷苑国際医療福祉大学病院/塩谷病院/三田病院/熱海病院/市川病院/山王病院/

国際医 学術大会 療福 祉 大学学会

学院長) 会長・三浦総一郎国際医療福祉大学 ^(cmw・三甫総一郎国際医療福祉大学大8回国際医療福祉大学学会学術大会」(大東京赤坂キャンパスで8月26日、「第 を開催した。

年4月に開設された東京赤坂キャンパンパスで開催されていたが、今回は本学会学術大会はこれまで大田原キャ スを会場とし、

加した。 未は 「医療福祉のメインテーマ 来へ した。 、の展望」。

深刻な少子高齢化な 「我が国は現在 開会式の挨拶で、 三浦大会長は 0人が参

●開会式であいさつする三浦大会長

学院長)

と述べた。 下で、本学は医療系総合大学のリーダフトが要求されている。そうした状況医療福祉の面において、パラダイムシ として果たす き役割が大変大き 社会に直面しており、 ニーダ

福祉の最前線の知見や、本学が開学以どが行われた。これらを通して、医療題の口述発表や特別講演、招請講演な 展望などが共有さ 来継続している国際貢献の成果や将来 しい実りの多い学術大会となった。 8題のポスタ 発表のほか、 メインテーマに 招請講演な 6

や 得 月 て、31 、 日、 市

2

9

年4

月の開設が正式に

福岡市の福岡国際医療福祉大学は8

*

*

開学へ

際医療福祉大学が

今泉

勉 氏

3-2

モンゴル・一UHW奨学金制度調印式

ベトナム・ドック健診センター開設式典

中国・開発施設のドック、リハビリセンター

-設計を支援

九州大学医学部卒業。医学博士。国際 医療福祉大学名誉教授。米国医師免許、

医療倫化大学名言教授。木国医師免許、 米国内科専門医、米国循環器専門医の 資格を取得。九州大学医学部循環器内 科講師、久留米大学医学部心臓・血管 内科主任教授、国際医療福祉大学大学 院副大学院長を歴任。2015年4月より福

岡国際医療福祉学院学院長に着任。

学長予定者プロフィール福岡国際医療福祉大学

文部科学大臣の設置認可を

ション専門決定した。

ン専門職を養成する4年制大学が

丸山仁司・同大学大学院型際医療福祉大学名誉教授、

同大学大学院副大学院長が

大田原

演会に参加時間と笑い声!隠居プロジェクト/JRPSとちぎ主催の県北医療講時間と笑い声!隠居プロジェクト/JRPSとちぎ主催の県北医療講理学療法学科1年生 人命救助で表彰/第8回幸齢者スクール/優しい

「IUHW成田消防上級救命救急講習会」を実施/ランチ会でお茶会

副学長には

vol.115 November 2018 CONTENTS

福岡国際医療福祉大学が来春、開学へ

第8回国際医療福祉大学学会学術大会

「那須マロニエホテル内覧会・竣工祝賀会」を開催

同市では初のリ

゛ビリ

誕生する。

(学術大会プログラム

■ポスターセッション

■国際医療福祉大学学会総会

ウェア&システム究開発東京ソフト アイ・ビー・エム研 藤江義啓 療福祉分野への 「A-技術の医 日本



開発研究所ワト

(座長·三浦総一郎 ソンヘルス開発部 国際医療福祉大学大

■特別講演Ⅱ 学院長 中村秀一 「医療福祉の未来への展望 国際医療福祉大学大学院副大 ―政策面より」

学大学院副大学国際医療福祉大 院長)

育面より」 への展望―看護教 「医療福祉の未来

松谷美和子

大学院医療福祉学研究科看護学分野責任 (座長・荒木田美香子 国際医療福祉大学

(座長·赤居正美 ●松谷国際医療福祉大学成田看護学部長

玉 成田看護学部学部長

九州地区統括責任者、福岡保健医療学部 (座長·工藤祥

療学部言語聴覚学科 生を支える認知機能の検討-「失語症者のevent理解―文の理解・産 大石斐子

「地域在住高齢者における加齢に伴う認知 機能の変化について」

連携支援」

療学部作業療法学科

岡看護学部 医療福祉大学

教授 森圭介 同定

部放射線·情報科学科

鈴木雅史 症流行との関連性に関する研究」

使用した大規模介入研究に関する予備調査」

■口述発表

田代大祐

「高齢者における活動性低下を予測するバ 介護老人保健施設マロニエ苑通 の探索と同定」

ためのアミロイドPETの新しい定量評価「アルツハイマー型認知症の超早期診断の

法の評価」

療の有用性の検討」 フリースタイ 「血糖管理困難症例に対するフラッシュグ ルコースモニタリングシステム(FGM) ルリブレ® を用いた糖尿病治

細貝良行

国際医療福祉大学保健医療学

国際医療福祉大学大学院

イオマ 所リハビリテーション 沢谷洋平

山田佳彦 国際医療福祉大学熱海病院内

センター

センター

学未来研究支援

「大田原地区在住高齢者に対する脳画像を

三輪建太 国際医療福祉大学保健医療学

「栃木県北地域における中耳炎発症と感染 国際医療福祉大学薬学部薬学

分泌代謝内科

■招請講演

国際医療福祉大学成田保健医

国際医療福祉大学福岡保健医

医療福祉大学病門田行史 国際

院教授

に対する意思疎通 部放射線·情報科学科 者(全盲·四肢麻痺) 「後天的多重障害 教授

葛山加也子 得のための多職種 ャット」の使用獲 ル「レッツ・チ 国際

●葛山国際医療福祉大学福岡看護学部講師

講師 福

「特発性黄斑円孔の疾患感受性遺伝子の 国際医療福祉大学医学部眼科学





ョン研究成果の報 用いたイノベーシ 療脳機能検査を ADHD診断·治

告









国際医療福祉大(座長·山崎力

(大田原キャンパス総務課 鶴見龍太郎)

●活発なポスターセッションが行われた

学専攻社会医学 長、医学研究科医

5 IUHW Public Relations Magazine 2018.11

ボランティア部(福岡)

ポ

人命救助で表彰理学療法学科1年 スレ 年生

ている様子をスクールバスの運転手が発見。席に女性が横たわっていた。同乗者が慌て道路反対側の路肩に停車している車の運転 県大田原市の那須地区消防本部で行われた。 対する感謝状の表彰式が8月31日、 バスが交差点で赤信号のため停車した際、 年生5人が6月に人命救助を行ったこと 那須塩原駅発の本校スクー 栃木

処置後に意識が戻った。どの救命処置を行ない、 救急隊が到着するまで 取りながら心肺蘇生な 路肩に移動し、 女性を車から安全な 連携を

現場に駆け

助けを求め、理学療法学科の1年

生5人が

様子を見に行くと女性は意識がない状態だ

た。運転手がバスに戻り、車内の乗客に



防長より表彰を受けることにな 的確な初期対応を行なっ

渡された。その後、参加者に修了証が田孝裕副学長から

閉講式では、新井

誉なことだと感じている。 成する大学で学部1年生に積極的に救命に関 わることができる人材がいることは誇りで 本学科の学生が表彰されたことは非常に名 また、 医療人を養

われ、盛況のうな社車両の展示が

る眼鏡、介護食、福 協賛企業3社によ

多くの参加者が訪れた

(理学療法学科講師 小野田公

(総務課

宇賀神祐

第8回 幸齢者スクー

協賛:オグラ眼鏡店・株式会社療食サ 後援:八溝山周辺地域定住自立圏推進協議会 主催:大田原市•国際医療福祉大学 トヨタ栃木株式会社

業療法学 拶の後、「健康づくりアクティビティ あった87人が参加 津久井富雄市長、新井田孝裕副学長の挨 原キャンパスで開催され、事前申 「第8回幸齢者スクー ル」が9月19 」と題し、 -し込みが 日、大

> 内容であり、私自身もとても参考になった。 者の方が疾患の理解を深めることができる て」。眼の解剖から今後の治療法など、当事 橋雄二院長による「網膜色素変性症につ

今回のボランティア

内容は網膜色素変性

すでに

漢方薬体験等、工学科による体力測定、 体験学習では全8 医師による「認知症と栄養」の講演を行った。 操」と、国際医療福祉大学病院・大塚美恵子 た準備運動「心と身体のウォ 動「心と身体のウォーミングアップ体科・関優樹助教による頭と体を使っ



●「心と身体のウォーミングアップ体操」にて

ŋ

準備運動を行う参加者

建っている。 築1

楽しみで待ち遠しい場所となった。 と地域の高齢者のお互い 生たちが改修してから 年を超える平屋を学

●協賛企業3社による展示にも なのかもしれないと思う。 役割を見つけて過ごしているが、誰かと話し たり笑ったりそんな場面を求めているもの 域で単身生活をされている方々は家の で単身生活をされている方々は家の中で買い物に行くのでさえ車がないと困る地

く流れる時間を笑い声と一緒に過ごしませ参加の条件はありません。皆さんも優し

巾着袋…。 野菜、手作業している姿が思い浮かぶようなた。持ち寄るものは手作りの漬物や採れたて って帰ってくる立場となっている。 からも関わりを求めてくれる循環になっ 学生の若いエネルギ 最近ではすつかり学生が力をもら ーに触れ、地域の方々

野澤羽奈)

母屋を譲り渡し、余生地域では、若い世帯になっていて、この ご自宅の玄関先までお迎えに を通して、ゆっくりと話をして過ごす。時には、会や季節に合わせた行事の考案などの活動 身世帯も多い地域である。作業療法学科の声が響く。この地域は、高齢化率47%で、単 隠居プロジェクト優しい時間と笑い声! 活動場所は、 生たちが、地域の皆さんと話し合い、 佐木地区に月 一軒家 、高齢化率は 回楽しい笑い 47 %で、 食事

> ちぎ主催の県北医療講演会にボランテ た、日本網膜色素変性症協会(JRPS)と

として参加した。講演はたかはし眼科

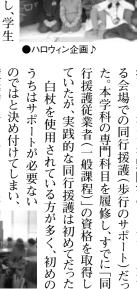








症による視力・視野障害のある方々に対す



初めの

0

積極的に声をかけることが があっても初めて訪れた 大があっても初めて訪れた はいようでもなかった。しかし、実際 りの景色などを教えてもら してくれる方がいると周 トが必要ない

がある方に寄り添うことができる視能訓の一つ回の貴重な体験を活かし、視覚に障 要性を改めて実感した。 ができた。こうした経験から、同行援護の重 必要か確認することが大切だと気づくこと た。自身で歩行が可能な方にもサポー など、当事者の方の生の声を聞くことができ

印波知美) 練

(視機能療法学科

第13回 パス

救命救急講習会」を実施 UHW成田消防上級

全日の日程で、 成田看護学部の 成田看護学部の AEDを使い 月 22 日、 シ 程で、 、学生64人(医学部16人、ョンセンターSCOPEで初 、上級救命救急講習会をシ本学と成田消防との地域連 36 15 台 成田保健医療学部 が受講した タと



えて

●倒れている人を発見し、周囲の人に協力を求める場面



外傷者への対 月には応急手 応なども学 さらに、

会が予定され当普及員講習 ており、 れれ

はずである

った

●裏千家の先生によるお点前のご披露

た る

国際交流

語やボディ!

13

ーランゲー

本学学生は教員の指

という。 はや臨床応用、大学売買動から~」と題し、研究 がら~」と題し、研究活

シンポジウムは「研

などの指導者となり、屋根瓦式の教なる。次年度以降の救命講習会で下 普通救命講習の ることにつながって に従事できるように 屋根瓦式の教育 級生 を

会を開催し の皆様のご り

云を開室 / 上にも成田っ

着物の着付 ネス

ラン

チ

ーションを取り、互いと積極的にコミュニケ

●習字体験の様子

様の日々の臨床・研究活

動の が、

お役に

同窓生

 $\overline{\mathcal{O}}$

立皆

れば幸いである

(理学療法学科

和田三幸)

だいた。

と等について

4 人 の

先生方にご講演

13

た

大学院課程を経て 研究を行

たこ

た

を使って中高生たち

ユ

協会婦

(医学部教授 石川和信

(国際交流セン

タ

大西信行)

キャンパスレポ

成田

小田原

ランチ会でお茶会を開催

第47回

スレ

教 学 さ 丸 スコ協会婦人部の皆様にお越しいランチ会でお茶会を開催した。成 家それぞれのお点前が披露 国際交流センタ しいただき、成田ユネ

ときめき国際学校受け入

n

原市と姉妹

んで

る

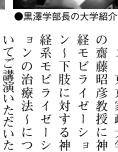


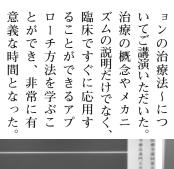
●茶碗を受け取る留学生たち

業では2011年から部で開かれた。この事日、小田原保健医療学 同学部での体験学習が 相互交流事業「ときめ 国際学校」が10月5 ラリア









学部長

の大学紹介に続

「高齢者体験・

妊

学を訪れた。

黒澤和生

市の中高生17人が本

今回はノー

歩容測定」

|習字体験|

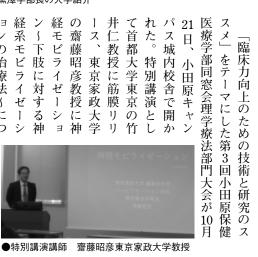
●高齢者体験の様子

かれて体験学習を行っの3つのグループに分

●シンポジウムの様子



同窓会理学療法部門大会開催第3回小田原保健医療学部





7 IUHW Public Relations Magazine 2018.11

県北医療講演会に参加 JRPSとちぎ主催

赤坂氷川祭に学生が参加 スレポ

社の宮神輿が安置 した。例大祭前半には空いた展示場に同神赤坂氷川山車「頼義」が赤坂の街中を巡行 ら3日間開催され、 例大祭「赤坂氷川祭」が今年も9月 14日 江戸時代から続いて ランス展示場に常時展示されている 、東京赤坂キャンパスの祭」が今年も9月14日かいている赤坂氷川神社の

のは、赤坂心理・を曳いてまわった実際に赤坂の町中

●一ツ木通りを巡行

に再び山車を納めた。早後は東京赤坂キャンパス一ツ木通りを巡行し、最 ある赤坂サカス、さらに 医療福祉マネジメ 「赤坂同好会」(顧問・高橋泰学部長) 伝統ある山車を ーたち。氷川神社からT 8 0 B S 本 O

展示場に格納した。 苦闘。押したり、曳いたりしながら、 り、坂道を登る時や赤坂正樹教授が陣頭指揮をと 朝から高橋学部長や武藤 ャンパスに戻る際には学 無事 悪戦

もぜひよろしく頼みます」とのお話が有り、赤坂氷川山車保存会の方々からも「来年 学生たちは達成感ととも

ような活動は、本キャンパス設立の際の公って非常に良い体験となった。また、この緒になって取り組むことは、学生たちにと加したり、大学近隣地域の地元の方々と一 活性化への協力」を果たすことに繋がると約の1つである「赤坂地域と連携し、地域 に来年に想いを馳せて いた。伝統行事に参

初めての総合防災訓練

を想定して行われ、 加した。訓練は講義室から出火したこと 生と教員・職員合わせて約200人が参防災訓練」が実施され、学部生・大学院 10 「東京赤坂キャンパ ス総合

なり教員4人がそれ学生が第一発見者と ぞれ現場指揮・初期





散水栓を使った消火寒院の消火器・補助ア)の取扱い方法や 避難後は階段避難 バックチ エ

るよう訓練を行った。 作業を体験し、災害時に冷静に対応でき

ンパス内に避難・滞留することが想定さ大規模災害などの際は多くの方がキャ

らに取り組んだ。

ープンキャンパスを開催した。

の様子は、 スの多目的ホ 計 1 8 0 他の4キャンパ 人を超える大学院進学希 ルで行われた全体説明会 スに同時中継

業主の立場からも専門の先生方の講演や、だいた他、臨床医や看護師、心理士、事だいた他、臨床医や看護師、心理士、事法人がんノート代表理事の肩B彳?

入試の説明を行った。 大学院の特長と学生生活、

進学相談会では、実際に施した分野・専攻ごとの全体説明会に続いて実 指導に当たっている教員が それぞれの特長やカリ 丰

った。参加者は熱心に説明を聞き、ュラムなどについてわかりやすく評 対する疑問や不安を解消 大学院では来年1月13日、 rel た様子だった。 説明を聞き、進学に 各キ

オープンキャンパスを開催予定。また、スで本年度2回目の全分野・専攻対象の も実施している。 各分野・専攻ごとの説明会や授業見学会 詳細は大学院ホームページ

https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/を確認してください。

齊藤未来

いしたい。 (事務部 神河諒介) えた上で、避難誘導などにも協力をお願 害が起きた際には自身の安全を第一に考 に参加して防災意識を高めてもらい、災

にした多銭重らり、活~両立への支援に向けて~」をテーマ東京赤坂キャンパスで、「がん治療と生東京赤坂キャンパスで、「がん治療と生

の各キャンパスで9月8日、 東京赤坂、大田原、成田、 ・ 口、大学院オー・小田原、福

の取り組みとして行ったもので、NPOんプロフェッショナル)』養成プラン」ーズに対応する『がん専門医療人材(が

を開催した。文部科学省の

「多様な新ニ

にした多職種協働市民公開シンポジウム

大学院長の挨拶に続き、望者が参加。三浦総一郎 今年4月に開設した東京赤坂キ ヤン



●全体説明会の様子

業主の立場からも専門の参加された一般市民、大学院生、医療関係者らとの総合討論を行い、 した。

●シンポジスト 岸田 徹NPO法人がんノート代表理事

●全年 月9日には「が が放射線治療の 最新の展望」を プロフェック がん

弦間昭彦先生ら5人の専門家の方々より開催する。講師には、日本医科大学学長 ご講演いただく。 ル養成のための教育ワ クシ

詳細は大学院ホー ぜひご参加ください ムページをご確認い

鈴木享)

第38回 パス

関連職種連携実習報告会

総合サー が3施設に分かれ、5学科の学生7~科が合同で実習を行った。 4人の学生作業療法・言語聴覚・医学検査の5学 際に1人の患者を受け持ち8人のグループ構成となり 今年で4回目を迎えた。福岡キ た 関連職種連携実習は、 ユラ ビス計画を立案する実習を行 ムであり キャンパスの理学療法・ 福岡キャ 持ち、 本学独自の チームで 実 インパ イスは カ 「今日はこの ・1分別ができ、 ・1分別ができ、 ・1分別ができ、

た。

タ収集、

スオ

多職種のスタッカット

フから各職種の役割や機能、受け持割や機能、受け持

でどについて説明などについて説明を受け、多職種のスタックで

ままます。

できます。

できまする。

できまする。<br

て指導を頂きなが通の目標に向かっという。 0)

告会では、関連職種ら計画立案できた。 を発表した。学生は共に主体的にの個別性に配慮した総合サービス 質疑応答も活発だっ 関連職種連携実習につ た。

キャンパスレポ

福岡

大川

ブース出展早良区健康まつりに

された「早良区健康まつ福岡市早良区保健福祉に 地域交流事業の一環として 「早良区健康まつり」に出展した。早良区保健福祉センターで開催交流事業の一環として 10月 11 日、



る教員、

人で、 部、

計測のために

イベントに来

また、健康づくりへの意識付けとして、来場者の満足度は高かったと感じている。イースを基にした保健指導まで実施し、健事では、結果の出力を提供し、計測展に対する期待の大きさが感じられた。展に対する期待の大きさが感じられた。 計れの
、測た出
●早良区健康まつり **完重優…… 、**を仲間と乗り越える中で、一 者募集、統計分析に難し究計画の立案や被験

展的に実施していくことが可能である教育、研究機能の地域社会への開放のへのニーズの高さも感じられ、本学の自分自身の健康指標を可視化すること

辻奈美)

第52回 11 スレ ポ

理学療法学科卒業研究発表会

定、研究計画、 教員の指導のもと、文献抄読、テーマ設る領域ごとにゼミの配置が決定し、指導研究では、4年前期にそれぞれ関心のあ ゼミから、25の演題が発表された。卒業研究発表会を10月7日に開催した。10の 理学療法学科 (11期生) の卒業



大切さを実感したよう

ないかと思う。卒業後もこの経験を活かむことの充実感や達成感を感じたのではクの重要性や仲間と1つの物事に取り組 究意義を学ぶだけではなく、 5る一手段として、研究を継目の前の患者様により適切 か く、チームワー研究手法や研かし、その困難 を感じること 院続し、患のな医療を ●理学療法学科卒業研究発表会

(理学療法学科助手

なってほしいと願っている。 者様を笑顔にできるような理学療法士に

防災訓練、AED講習会

の協力を得て実施した。 等講習会を9月19日、大川市消防本部1年生を対象にした防災・防火避難訓

消防局員の監督のもと、 出火場所を2号館20 教室と仮定して





告を行った。

医療従事者を目指す本学学生にとって、用いての、本番さながらの講習は、将来ることができた。訓練用AEDと人形を分かれた学生全員が心肺蘇生法を体験す 貴重な経験となった。 使用方法の実技指導が実施され、 その後場所を体育館 A E D 6 班に 0

ほしいと思う。 (学生係、公永急につるとともに、この経験を今後に活かしていてくださった消防局員の方々に感謝すいてくださった消防局員の方々に感謝すいてくださった消防局員の方々に感謝すいてくださった。 多忙な中、 本学学生のために時間を割

9 IUHW Public Relations Magazine 2018.11

(がんプロフェッショナル)養成プラン文部科学省 がん専門医療人材

IUHW 5 Campuses School Festival

Tokyo Akasaka Campus



2018 10/7 つながる絆 広がる想い





●学生・職員からの寄附品が販売されたチャリティバザー ●IUHW DANCE CLUBによるステージ発表







●学生による芋煮販売

●竹中功さん特別講演会

●香山リカさん特別講演会

Odawara Campus

第13回 潮風祭2018 10/6~7

Connect

~ここから広がる人との輪~









●熱海病院スタッフ協力による電気メス体験コーナー

Okawa Campus

2018 10/7

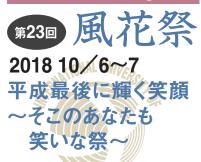
戮力協心

※福岡キャンパス「蓮翔祭」は 台風のため中止になりました。



●毎年恒例のミス・ミスターコンテスト

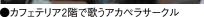
Otawara Campus





●2日間大盛況だった模擬店風景









●宮城県岩沼市から届く野菜の販売風景

Narita Campus



2018 10/6~7 **RAINBOW** ~What's

your color?~



●装飾した大階段に立つ実行委員長の後藤立樹さん



●手話サークルHand Soundsの手話劇 「不思議の国のアリス」



●地元商店会の祭り「公津フェスタ」に参加したオーケストラサークル



11 IUHW Public Relations Magazine 2018.11

ついて国際医療福祉大学病院新棟に

際医療福祉大学病院では

室など、 医学部の臨床実習が行わ と進んでいる。当院で成田月の完成をめざし、新棟の 1階は外来診察室、 設に続く事業計画に基づ るための施設として今年 めに建設した研究棟、 ·Uなど、 棟は6階建てで、 した「那須マロニエホテル」の建めの施設として今年 11 月にオー 研究施設・設備の充実を図るた 3階は内視鏡室やX線透視 5階は病棟、 2階はICUやC 成田キャンパスを成田キャンパス 約 1 医学生が宿泊す いて実施する れることを見 6階はラウ 0 0 0 0 m²

床数400床以 を件の一つ(病 を件の一つ(病 を件の一つ(病 とな 開発・研修など が完成すると当院の病床数は408床ンジや図書室などが配置される。新棟 療 の提供・ 、高度先

(総務企画課 平野幸宏)

●国際医療福祉大学病院

●国際医療福祉大学塩谷病院

●国際医療福祉大学三田病院

●国際医療福祉大学熱海病院

矢板市·国際医療福祉大学「第1回 表者連絡会議」を開催

国際医療福祉大学代表者連絡会議」献を充実するための「第1回 矢板市耐めと情報交換し、地域医療への 月 29 日、 塩谷病院大会議室で開かれ畑社大学代表者連絡会議」が

人が出席。



田康文病院長 と各副院長、 をそろえた。 市幹部が約 市時間にわた り院内を見学 した後に開い た会議の冒頭、 が挨拶した。市側から市の概要・現状 についての報告の後、病院側から塩谷 についての報告の後、病院側から塩谷 についての報告の後、病院側から塩谷 についての報告の後、病院側から塩谷 についての報告の後、病院側から塩谷 についての報告の後、病院側から塩谷 についての報告の後、病院側から塩谷 についての報告の後、病院側から塩谷

15

らなる協力をお願い 積極的に救急受け入 の気持ちが伝えられるととも の協力に感謝

(総務課

て熱のこもった議論を展開し、矢板市することで合意した。予定時間を超えに向け、実務者間で具体的施策を検討 との協力体制を確認することができた。 して意見交換 て意見交換し、今後はそれらの実現それを踏まえて双方の要望事項を出 の状況について情報共有した。

感謝状が贈られる

芝消防署の米山警防課長が来院し、当り組みが評価され、9月18日、東京消:三田病院の日ごろの救急医療に対す 救急部部長の志賀隆医師に感謝状が贈ら

され、志賀医 全体朝礼で この様子は



したい」との決意が示 れを行っていきたい さ

金澤仁緒子)

として厚生労働省より感謝状授与臓器移植対策推進功労者(団体)

移植外科の矢嶋淳准教授が贈呈式に出っ団体の部3施設が選出され、当院からが贈呈された。本年度は個人の部22人

当院からは

団体の部を代表して挨拶をした。

として、厚生労働大臣から当院に感謝状

本年度は個人の部22人と

た「臓器移植対策推進功労者(団体)」臓器移植対策の推進に顕著な功績のあ

「第 20 回

臟器移植推進国民大会」

10 月 7

京都で開催され

、東京消防庁、 、東京消防庁

●米山消防課長と当院を代表して

感謝状を受け取った宮崎病院長 神奈川県

お

●厚労省より感謝状授与

また、静岡県臓器移植推進協力病院の指体制を整え、移植外科開設からの10年間体制を整え、移植外科開設からの10年間の10でででででででででででででででででででででででででででいる。 13年には脳死下臓器提供の部から静岡県中東ニー への協力、 今回の受賞となった。 内掲示などの積極的な協力が認めら 西り 普及啓発冊子やポスタ 県内普及活動における講演

中原正実

じめ、医師会役員の市川市医師会長をは ●宮﨑部長の講演に耳を傾ける参加者の方々 長として着任さ

先生方にも多数ご参

0)

報告会では、糖尿病・

態毎の最新糖尿病治 竹本稔部長より「病 代謝・内分泌内科

る貴重なご意見や提言を賜ることができた。 尿器内視鏡の新しい診断と治療」 報告会後の懇親会では、出席された先生 自己紹介をしていただき、当院に対す 泌尿器外

 $\stackrel{\mathcal{O}}{2}$

回は、来年の3月開催予定。

地域医療連携室 田中弘一郎)

国際医療福祉大学市川病院

●山王病院

●金丸こども園

●マ□□工苑・水郷苑

東大腫瘍外科主任教授に石原聡―郎教授が

「第2回 医療連携症例報告会」を

から欠のようなメッセージが贈られた。任された。退職にあたり、堤治病院長東京大学医学部腫瘍外科主任教授に着りませ、 月末をもって当院を退職し、 10月よ(国際医療福祉大学医学部教授)が消化器センター長、石原聡一郎医 郎医 月より

を図ることが会の主より緊密な医療連携

藤勝仁

京大学腫瘍外科より当院消化器外科

月に、

東 部

空であったものの、

園児たちの願いが伝

の運動会を開催した。

第2回うんどうかい」開催

わったのか天気は持ちこたえた。

準備万

ま

た。

同年7月

手を振りながら入場行進を行い、保護者端整った園庭では在園児62人が元気よく

たちはわが子の成長に目を細

めながら、

における介護人材を考

トは介護をどう変える

など注目

Ą

体的に報告することで

に治療したかを具

者様を当院でどのよ ご紹介いただいた患 を開催した。市川市や近郊の医療機関か 福祉大学市川病院 医療連携症例報告会」

当院にて「第2回

国際医療

携して診療する「消器部門が、内科・粉科の垣根なく連外科の垣根なく連 化器センター」 して新たに発足し %して診療する「消が科の垣根なく連いが、内科・国報なりでは (内科・)の ではない た消化 بح



まざまな思いを込め

話題が取り上げられた。

参加施設の取り組みを披露する演題発

メラを構えたり、

ら保護者へ、手作り 閉会式では園児か て温かく見守っていた。

そのサプライズプレのメダルが贈られ、

談員、管里された他、マロニエ苑と水郷苑より介護福祉士、 世学療法士(PT)、作業療法士() た他、マロニエ苑と水郷苑より介護福祉士、 た他、マロニエ苑の浦

談員、管理栄養士の9人が業務や研究を理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、相

回大会で奨励賞に選ばれた水郷苑の相

「在宅復帰率

-向上を目

通じて得た成果発表を行っ

当院の消化器部門をよ

ちで見られた。

レは、

せそうな顔があちこセントに保護者の幸

ことにご尽力

手術を数多く行い、患者様はもとよりとし、質の高い大腸肛門外科の低侵襲築きながら治療を行うことをモットー 石原医師は、患者様との信頼関係をとにご尽力いただきました。 も信頼が 厚く うまれ

見られた。皆の思いな

、その景色に目を潤ませいを乗せた風船が大空声だった風船飛ばしで締め

た

の続報の報告を行

ますとともに、心、私どもも大変誇 石

から祝福し、職員一同らしくうれしく思いま医師の新たな門出は、

今後ともます

して

期間で名残惜し

ル大宮で開かれ、介護関いたま市のソニックシテ が 10 月 17 日から 19 日までの 3 日間、 した「第29回 全国介護老人保健施設大 「彩ろう!豊かな高齢社会を~老健は 全国老人保健施設協会) 」をテ パレスホテ

開会式では、マ



13 IUHW Public Relations Magazine 2018.11

来年の全国

大会は大分で開催の予定。

和久強、水郷苑

溝上栄輔

際医療福祉大学熱海病院

海外保健福祉事情

モンゴルが加わり、渡航先は全 15か国 25研 修先、参加学生数は7 施された。今年度より夏季研修先に新たに の総合教育科目「海外保健福祉事情」が実 年度も夏季 休暇中に約2週

び多い有意義な研修を過ごした。 生や職員との文化交流「TOMODAC 参加学生は現地スタッフや引率教員のサポ もと、現地の医療福祉施設の見学や現地学 今号では誌面の都合上11カ国14グル 渡航先により研修内容は若干異なるものの、 UR」、市内見学を行い、それぞれが学

待ちにしているようだ。 説明会や準備等で忙しくなるが、研修を心 冬季研修参加学生はこれから事前 を紹介する。また、冬季研修では へ研修グループ

(大田原キャンパス国際室 田所清美)

日韓の違い深く理解を

助教が竹内真太成田保健医療学部 理学療法学科

有益となるように工科、看護学科、医学 総合大学の特長が活かされ、理学療法学韓国・乙支(ウルチ)の研修は医療系 であった。研修の中には韓国の歴史や食 看護学科、 うに工夫されたプログラ、医学検査学科の各学生

> が常にサポートしができた。また、 になってもらうことを期待してい理解し国際的な視点を備えた医療 的に学び、楽しむ姿勢がみられ大変有意むことができた。参加した学生達も積極 に参加した学生には、日韓の違いを深 義な研修になったと感じた。今回の研修 にあうことなく、 交流としても有意義な 文化を体験するプログラムが多く、 参加者一同、 国際的な視点を備えた医療従事者 してくださったこともあ 韓国 安心して研修に取り組 大きな体調不 の教職員や学生達 時間を過ごすこと 良や事故

技術力の高さなど体験

福岡保健医療学部 川田莉子 言語聴覚学科

韓国の医療福祉制度や (インジェ) 医療職 校の講義では、 0) 背

受け、日本では 学んだ。講義を て行っているこ 法士が専門とし 韓国では作業療 う嚥下の訓練は、 言語聴覚士が 両国の共通 行

という貴重な経験を上韓国の医療機器を体験 韓国の技術力の高さやリ る

とを知った。 ●研修先のインジェ大学校での集合写真

できた。

学科別プログラ はか、体験型のプ に見た を組んで が、体験型のプ ば乗馬リハ室では3~いただいた。例え

認知などを鍛えるものであった。 あり、それぞれ動きが異なるため患者別 型の機械はゲー 分ける。CoTrasというタブ うつ病患者や小児から高齢 ムを用いて集中・記憶・ ν ベ

検査の様子 を身をもって感じることが

の文化に 10日間の研修を通したくさんのことを 経験することができた。 触れる機会も設けられて講義や病院見学以外に、 お韓り、国

える、

技術発展を活かし

シンガポ

からの勉学に活か 今回学んだことや 感じたことをこれ

准教授

福岡保健医療学部

理学療法学科

思い出に終わらず自主継続を

本研修は5キャ

ス5学科

の学

2年 菊池史華保健医療学部 佐 楽しい リハビリ提供に重き 作 業療法学科

学生方との交流も実し、他キャンパ 『に行った。 施設の見学も充 他キャ た。病院日間の研



●乗馬リハ室での乗馬体験

●実際に体験したCoTras 健康増進プロ **(SIT)**の講 **(SIT)**の講 保障制度につグラムや医療

と共に行動することで食文化を学び、さ上がった。また、日々、SITの学生達ではキャンパスが1つになり大いに盛り強くなりTOMODACHI HOUR ず研修中でみせた自主性と積極性、他者できないこの経験を思い出話に終わらさ文化交流を図ることができた。日本では 深めようという学生達の意識は日に日に らに英語で自分の意志を伝え、 有意義な 交流を

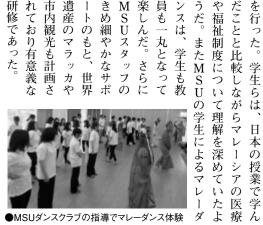
ンスは、 うだ。またMSU や福祉制度について理解を深 だことと比較しながらマ 学生も教 の学生 本の授業で学 によるマ シア めて

によって、改めて日本の医療環境が充実し

いることを再確認することができた。

ま

設備や医療人 カンボジアで



3民族が相互文化尊重し共存

向きな学修姿勢に刺激を受けた。地の学生と交流する機会もあり、

とても実

その姿勢を見習いたいと感じた。

また、

現

アの医療環境の発展を必死に考えてお

学生生活に活かしていきたい。りある海外研修を体験できたので、

2年 高畠 希成田保健医療学部 医学検査学科

それでも目で見て感じられる施設の充実いワードが出てくる事の方が多かったが、のTの施設が多くMTの私自身は知らなが多々存在した。施設見学ではPTやみると良くも悪くも事前学習と異なる点 徴の1つに感じた。本研修で学んだ事をしながら共存しあっている点も大きな特た学生たちがそれぞれの民族文化を尊重 $\begin{smallmatrix} T & O \\ M & O \\ D & A \\ C & H \\ I \end{smallmatrix}$ るマレーシアだが、 知ることができた。 習は行っていたが、 ぶりや務めている医療従事者 や文化を学ぶことができた。予め事前学 この研修で私たちはマ 現地の学生を含める民族が共存している民族が共存してい 3民族が共存 いざ現地で過ごして HOURで触れ合っ

学生サポートに感謝

2年 中島 彩 福岡保健医療学部 作業療法学科

私達はイ 研修を ウダ 大学で

文化につい アの医療と ネ

会となった。 実感する機 語学の必要 語で行われ ができた。

また、 学習ではグ 課題

●Farewell partyで学生交流

緊張したが、 とができた。 分たちの考えを みんなで協力し乗り切るこうえを上手く伝えられるか、 る

ことが多かったため、積極的に学生交流く、日常的にコミュニケーションをとる 日常生活面も含めてサ 今回の O M O D A C H だことを今後に生かしていきた。この研修を通 ウダヤナ大学の学生が HOURだけでな りポートしてくれた。

現地学生と交流深める 成田保健医療学部 理学療法学科

情の引率業務としてカンボジアで研修 機会を得ることができた。学生は福岡看 室業务としてカンボジアで研修の4日から15日まで海外保健福祉事

省の方々に話を聞

く機会があったが

市内観光も計 遺産のマラッ

トのもと、

カンボジ

て、病院長や保健

とができた。そし

●カンボジア国立保健科学大学の学生及び教職員とともに

楽しんだ。

ムや人材管理など ため、教育システ 材が不足している

岡保健医療学部4人、小田原保健護学部12人、成田保健医療学部6 護学部12人、 研修内容は、本学海外協定校の1つであ 保健医療学部(看護学科、 人の計23人が参加 また、 医学部、 小田原保健医療学 歯学部、 福

のサポー 高い研修内容であった。 するUHSキャンパスの見学を行学科、助産学科、医学検査学科) 地学生との交流を深めることができた。 は主に国立病院・保健所などの施設見学 るカンボジア国立保健科学大学(UHS) トを訪れ、 トにより計画されており、平日 れ、参加学生の満足度も非常世界遺産であるアンコール 理学療法 が併設 薬学

日本の医療環境充実を

2年 江連眞一郎成田保健医療学部 理学療法学科

カンボジアの医療に触れることができた。 私たちは、11日間の研修を通して実際に 医療途上国だから学べることは少 いたが、 。例えばクリニックや、たくさんのことを学

准教授 山内英樹成田看護学部 看護学科 医療や福祉制度に理解深める

研修に参加した。訪問施設は、リハビリジメント&サイエンス大学(MSU)の人が、8月4日から11日間の日程でマネーな研修は4キャンパス5学科の学生36 祉の実際についての見学や文化交念や組織についての講義を受け、福祉施設などであった。どの施設への医療提供病院、障がい者施設 ーション病院やマレー半 511日間の日程でマネ 511日間の日程でマネ シス大学(MSU)の ンス大学(MSU)の でかい者施設や児童 でた。どの施設でも理 の講義を受け、医療福

15 IUHW Public Relations Magazine 2018.11

IUHW Public Relations Magazine 2018.11 14

を置いていると感じた。通して楽しいリハを提供できると聞いた。他にも

展を活かしたリハであった。と感じた。患者が進んで行りハを提供することに重きりハを提供することに重き

夏のゴ

ルドコー

Private Hospitalへの訪問、Tafe内での実技

O M O D A C H I

HOURな

くださった。学な説明に加え、

対話をとても大切にして 生は異国での生活、

ベトナムの方々は丁寧

援を受けていることも

 $\begin{matrix} T & O \\ M & O \\ D & A \\ C & H \end{matrix}$

O U

Ř で

して中には、

った。

医療職の方々が働いてい

いていた施設もあったCAを通して日本人の

八が医療に

病院で治療していたことなどである。

も有意義に感じた。咽頭部の炎症を抑え たが逆に日本にはない治療もあり、

とて あっ

るイオンが出る機械もあり、

薬ではなく

そ

た。学

各施設において、

大学病院、こども医療福祉施設を訪問した。

門ドックセンター、一今回の研修では、

チ

- チミン医科薬科ョーライ病院、人

/ムの病院は

●ホーチミン医科薬科大学

が不足していると感じた部分が多くあ医療が発展しつつあるモンゴルで、医また、現在

准教授 森山ますみ成田看護学部 看護学科

をいた。 ベトを手伝っをいた。 ベト

TOMODACHI HOUR ベトナムの学生・教員と一緒に

に短くはな

食事や衣服の極的であり、

期間が決まっ日本でも入院

●モンゴル医科大学での集合写真

なってしまう 棟での治療に

ているが極端

着脱、排泄、

族の協力が積 では患者の家

本との環境の違い ドで生活をす

文化能力、国際性学ぶ

施設訪問を通して、

日本では体験でき

積極的にコミュニケ

.的にコミュニケーションをとるこナムと日本との異文化交流を行っ

ムの学生との交流を楽しみ、

所を拝見して、

きな光、

保健医療

いての一致や差異に気づき、

生懸命聞き取ろうとしたり、

流暢に会話ができないなが

を交えて伝えよう

英語のレッスン、

が参加っ

ュッスン、Nursing Homeや加した。現地でのプログラーコーストには学生31人(教

ジェスチャー交え意思伝達

講師 前田佑輔 理学療法学科小田原保健医療学部 理学療法学科

ることができる貴重な体験であった。ケア

あり現地の人のライフスタイ

ルを肌で感じ ということも

るいい機会になったと思う。日本人や日本の社会の特徴を改めて考日本が違う環境で生活することにより

ンズは治安がよく、

美しい

自然に囲まれた

人々もみんな温かくい

か

療する医師やナ

ースチ

ムが存在した。 彼らを専門的に治

また、

学生た

仕組みについ

いて再度確認できた2週間で

ムステイ

研修では理学療法を一度離れ、医療全体

ちはホー

ムステ

イを通して様々な属性

2 年

塩原美羽

小田原保健医療学部

理学療法学科

とである。

期間が短いこ

では入院する

内容だった。

内容だった。例を挙げれば、モンゴルモンゴルでの海外研修は非常に興味深

院期間は全て

積極的な患者家族の協力

方々と交流することができた。

文化や

考 0)

医療の違いを学んだ。

院内の廊下で寝て

日で、その後 合わせて 10 10

今回の病院研修で、

日本とベト

る患者や、

病室に無造作に置かれたべ

る患者を目

0)

4

別の回復期病

自宅休養又は

などの先住民族もおり、

ってい

ることを学

んだ。

アボリ

たのではないかいうことが学べ

ば何とかなると な積極性があれ

●TOMODACHI HOURにてファミリーと一緒に折り紙を作成

れらは医療職の学生にとって重要な 考えねばいけないことを学んでいた。

「国際性」を学ぶ貴重な経験

その背景には歴史・

ベトナムの視点で捉えなおしいには歴史・社会・環境などが

して

成田保健医療学部

作業療法学科

山来佑佳子

興味深い短い入院期間

で培われた

「あたり

まえ」 あっ

が通用

た。

本の生 などがあれているといい。

あった。 化能力」

りも最先端の医療環境のもとで国民の健

・ケアというものが存在し、

2年 山本悠瑞樹成田保健医療学部

理学療法学科

人とコミュニケ

ションを取る

む姿勢が随所に

私たちはオー

アンズという港湾都市で海外研修を行っ オーストラリアでは国民保険の他にプ

医療全体の仕組み再確認

海外保健福祉事情

イギリス・台湾・タイ・オーストラリア

ラボでの処置練習 緊張感あるシミュレー ・ション

看護学科

、シミュレーション・ラボで受けギリス研修で一番印象に残ってい 佐藤真季

たる

救急の講義で そこは



●研修の合間には、少しおしゃれな服装で近くの街に出かけ、 イギリス名物の「アフタヌーンティー」を楽しんだ。

難しかった。ここで練習を繰りた比べて焦りが出て素早く処置する に処置ができるようになると感じた。 首を固定する で、ででいい、 、実際の現場でも周りにとらわれずい、実際の現場でも周りにとらわれずいった。ここで練習を繰り返しておて焦りが出て素早く処置することが を巻いて など食文化に触れる機会も ウィッチと紅茶の昼食を取ったり、 映像が映し出されて って シュアンド ーを頂いたり、 な また、 と

みると、

民族舞踊や料理などタ

イの文化に親しみ

見渡せるプログラムであった。

参加学生

学生ボランティアの支援に感服

薬学部

薬学科

福岡および大川の5キ よる引率のもと、 辻 日より16日 大田原、 まで、 成田、 ンパスから43 成田、小田 教員3人

協力により、学生は伸び伸びとした雰囲気

有意義な学びを得ることができた。

看護学科

セン

するなど、研修に真摯に取り組む姿勢もみ

れた。主催・

大学の先生方の暖か

歓迎と

には滞在先の寮にて学

同士で夜まで議論

ティに溢れており、特に学生ボランテ 先方の教職員の方々 することができ、大変有意義な研修であった。 学、ならびに各台湾名所の観光が用意さ文化交流、規模・機能の異なる3病院の見 経験は大きな財産になるものと考える。 アの皆さんの親身なサポー も含めて台湾の医療や文化の実際を体験 ムであった。学生のみならず、 日指す学生にとって、今回の研修での今後、様々な分野で活躍する医療人 質・量ともに充実したプ の対応はホスピタリ には感服 ログラ

暖かい歓迎と有意義な学び

講師 講師 山口佳小里成田保健医療学部 作業療法学科

先生方をはじめと

とあたたかさがあってこそである。前後の学

おける講義に始まり、H.I.V. 研修はChristian University of Thailandに 8月初旬の10日間、タイでの研修を行った。 タイの医療福祉事情の siteや公立)

出発する皆さんには世界が広がるわく

運ぶ青い蝶に会いに

医療環境と、

景色と、

京色と、人と、幸せた また訪ねてみてほし

療人となった後で、

生にとって大切な "Another sky" にな

ったのではないかと確信する。

晴れて医

修で得た御縁を大切にしたい。そして

問わず多くの人に助けてもらった。今回の 習を含めて、今回の研修では国・キャンパスを

元培医事科技大学内での様々な講義や人の学生が研修に参加した。 引率教員 ャンパスでもじっく 修であった。メンバ あり、同じ成田 バンコク病院や国立リ 成田看護学部 人々のエネルギーあってこそ V患者が療養するお寺、アユタヤ遺跡、

り話したことのな 通して楽しい思い 10日間の研修を はほぼ初対面で 人が多かったが



教員と。タイではこんなポーズで写真を撮ります。

そして、

輝かせていた

出を作ることがで

にできたのは、タイ きた。そんな研修

リスチャン大学

できないホ 修では経験 他の国の研

ムステイ

准教授 石山寿子成田保健医療学部 言語聴覚学

福祉用具会 沢な研修であった。Tafeでの研修は English class とMedical lectureの2本柱 ケアンズ第1班は成田キ 学生たちはEnglish class に胸を躍ら 「楽し ある意味贅 スの

●最終日にTafeの皆さんと記念撮影

たようだった。ケアンズの澄んだ空が学 にな つの

な経験

自分を見つめなお は家庭環境の違い

積極的に交流した。また、H.I.V. site見学後 -などを駆使して現地の方々

違う環境と澄んだ空が大切

IUHW Public Relations Magazine 2018.11 16

平成 30年度 年間成績優秀賞

賞者が決定し、各キャンパスにて表平成30年度年間成績優秀賞受

彰式を開催した。

年間成績優秀賞は、各学科の2

今 として奨学金が授与さ で人品の優れた学生を顕彰し、副賞 た 年度は5キャンパス、3人が表彰さ 生以上において、学業成績が優秀 れるもので、

医学科

2 2

NGUYEN VAN

TA HA NGUYEN DANG THANH HU

氏名







スー・・・パン		看護学科		福岡看護学部	学科	福岡キャンパス
	4	3	2		学年	ス
	屮	眞田	白土		Æ	
	彩香	莉瑚	沙也		氏名	

	作業療法学科			理学療法学科			看護学科		小田原保健医療	学科
4	3	2	4	3	2	4	3	2	医療学部	学年
石井	宮下	山﨑	神野	早川	藤田	中本	大貫	西郷		
麻那	咲 雪	せんり	元希	佳那子	勇 輝	優香	菜 央	徹		氏名

看護学科

3 2

武高﨑原

七珠

理学療法学科

作業療法学科

陽 南 佳 子 里

福岡看護学部	学科	福岡キャンパ	
	学年	パス	
	氏名		

言語聴覚学科

福岡看護学部	学科	福岡キャンパス	
	学年	ス	
	氏名		

岡キャンパス	ス		
学科	学年	Æ	氏名
尚看護 学部			
	2	白土	沙也香
護学科	3	眞田	莉瑚
	4	片	彩香

BRANCO CONTRACTOR CONT
eco.

●福岡キャンパス 年間成績優秀賞表彰式



●小田原キャンパス 年間成績優秀賞表彰式



		薬学科			薬学部		マネジメント学科		医療福祉学部
6	5	4	3	2		4	3	2	
八木澤	伴 野	髙橋	柳西	小川		渡部	竹澤	吉岡	
序昂大	友 香	健人	亜夢	亜美		珠実	翔摩	葉月	

●成田キャンパス 年間成績優秀賞表彰式

4 3 2

小林

佑子

圭悟

あみ

莉帆

国路区疫場北大学福岡保健医療学部

●大川キャンパス 年間成績優秀賞表彰式

4 3

梨紗

理学療法学科

3

綾花 彩伽

隆太郎

2

氏名

医学検査学科

4 3 2

塚 岩 川本 本村

0)

めざそう」など多く

0)

福岡看護学部(福岡キャ

ズが心に大きく響

音いたようだった。、の耳に残るフレ

が多く寄せられ

が多く寄せられ、「エンピツ人間をびとてもためになった」という意見を加者からは「今後の人生におい

護危機を考える

東京一

回は「介

なの・

高橋泰学部長が講演を

医療福祉マネジ

ト学部、

ャンパスでは、

工催による

「市民公開講座」

康と運動 を含めて 感染症 感染症 を守るノウ yる参加者>こながらその 参加する様子が見られた。 第2回以降は り身近にある ソハウ も多く 口 をダ 積極的に講座 ウクス 口 胃

市民公開講座を開

0)

マ

マに

した講義が行

- バル時代から、

交えながらグローご記者や社長時代の

抜くための術を分かりやす

知ろう~」などの自分の身体を

してきた世代が、

uた世代が、今後 15年で後期 0年にかけて東京へ大量流入

橋学部長は、

一齢者となることにより

東京では

を開催し

があると指摘したうえで、

「少子

への対応の鍵は、

省エネ型の と提唱した

方・死に方である」

|療介護の提供負担増加などの懸念

育てよう心と身体」↓ パスでは 10 月 28 日に ら学ぶ健康長寿とは~」 ら考える心の)「賢人からの教え、。 理学療法学科 病院の見分け (こころサポ 歩き方評価なども実施 Ę 体験型講座として 「守ろう ・小澤敏夫教の関し、開催 から始まり ター) 「ゲ た。 健康 か

育

ための心の使い方

·ポジテ

ィ ブ

良い

コロジ

手な

な人」のテーマ『感情の整理』

変わる医療の姿」「幸福感を高め

化と高齢化

授した。

プリ「Q助(きゅーすけ)」を使いなを推進している全国版救急受信ア

な

BJ (きゅーすけ)」を使い

対応で

対応に感銘を受け

の後にマットを敷き親と子どもが参加-の子育て中の母 子

当

日

に今年度第

口

回の公開講座を開催。ハスでは、8月 25日

かれた。 大田原キャ

講演の

他に

-を呼ぶか迷ったときに」に素文副医学部長・医学科長が

総務省消防庁

が普及

と と「救 成田 開かれた。

ニキャンパ

スでは、

も連れで参加でき

を設けた。

『ごき、スタッー。複数の母親が

スタ

フ 子 0

トを敷きキ

ズコ

と記していたさまの温かい

また「将来娘に赤ちゃんができ |丸ごと受け止めたい]「若い方に たい

本年度開売 日、開学後初め、 日、開学後初め、 女性脳から母性脳への変換」のテ 女性脳から母性脳への変換」のテ 一マで、母性看護学・大学院助産 一マで、母性看護学・大学院助産 一マで、母性看護学・大学院助産 一マで、母性看護学・大学院助産 一マで、母性看護学・大学院助産 一マで、母性看護学・大学院助産 を語った。 児が愉しくな を 幸 つ せ くる秘訣 ての公開講座を開日を迎え、10月13 (10月13 に) (10月13 に) (10円13 に) (10円1

育て中の 多く 母

●福岡キャンパス市民公開講座

	市民公開講座実施予定	一覧						
日にち	テーマ	講演者/担当	キャンパス					
12/1(土)	あそびから学ぶ子育て 育児は育自~ 子どもも育ち、自分も育つ	上野恭子特任准教授	福岡					
12/8(土)	良い病院の見分け方	羽田明浩教授	東京赤坂					
12/13(木)	誤嚥を防いで元気に長生き ~その2~	言語聴覚学科	成田					
12/14(金)	21世紀の医学教育	赤津晴子教授	大田原					
12/21(金)	日本の災害経験を活かす国際貢献	石井美恵子教授	大田原					
12/22(土)	社会心理学で読み解く政治の世界	川上和久教授	東京赤坂					
1/26(土)	整理整頓が命を救う 〜ベトナムの病院での取り組み〜	和田耕治教授	東京赤坂					

早い機会に伝えたい大切な授業」「温いな開講座になったと思っている。 うまでの自行すごく心地よかった。今までの自分をありのまま受け入れられた」と分をありのまま受け入れられた」とい公開講座になったと思っている。 各キャンパスでは12月以降ない公開講座になったと思ってい金てに満足度が高く、母子に優

の方にご参叩、 では 12月以降も市、 スプローン スでは 12月以降も市

広報誌 IUHW 115 号 発行:学校法人 国際医療福祉大学

〔大田原キャンパス〕 栃木県大田原市北金丸2600-1 20287-24-3000 〔成田キャンパス〕 千葉県成田市公津の杜4-3 ☎ 0476-20-7701

[東京赤坂キャンパス] 東京都港区赤坂4-1-26 203-5574-3900 「小田原キャンパス〕 神奈川県小田原市城山1-2-25 (本校舎) 2 0465-21-6500 〔福岡キャンパス〕

福岡県福岡市早良区百道浜1-7-4(1号館) 2092-407-0805

デザイン:野佐デザイン



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

©国際医療福祉大学2018 Printed in Japan 禁無断転載・複写

※市民公開講座実施予定は変更、追加になる場合があります。詳細はホームページでご確認ください。

〔大川キャンパス〕 福岡県大川市榎津137-1 ☎0944-89-2000 編集:広報部 203-5574-3828

ホームページでもご覧いただけます https://www.iuhw.ac.jp/



キャンパス プラス1 vol.5 クラブ・サークル紹介



福岡キャンパス「ボランティア部」

こんにちは!福岡看護学部のボランティア部です!2016年に サークルを立ち上げて、部員が増えたため17年にはボランティア 部となりました。創部から間もないため、手探り状態ですが、頑張 って活動しています。

活動内容は、大学から紹介 していただいた地域ボランテ ィアに参加したり、福岡マラ ソンのボランティアや、リレー・ フォー・ライフ・ジャパンでの ボランティア、百道浜の清掃 活動、昨年7月に起こった九州 北部豪雨の被災地で募集され ている学生ボランティアに参 加したりしています。

福岡マラソンでは、スター ト地点での運営のお手伝い、

& none





●百道浜での清掃活動

リレー・フォー・ライフ・ジャパンではリレーイベントでのお手伝 いをしました。百道浜での清掃ボランティア「ももち浜クリーン アップ活動」への参加や、西南大学のボランティアセンターから 情報提供していただき、今年7月の西日本豪雨で百道浜に流れ着 いた木材やプラスチックなどを回収する活動にも参加しました。

九州北部豪雨の被災地では、北九州大学、久留米大学、西南大学

によって成り立っている、 学生のためのボランティア

にも参加しました。また、その他にも様々なボランティアに参加 させていただいています。

ボランティア活動に参加する上で、ボランティア活動はあくま で自己満足であり、報酬を求めることをしない、ボランティアを 募集してくださった方々に喜んでもらえて、なおかつ参加した部 員にとっても学びや喜びが得られるような活動にしていきたい と考えています。

メンバー構成は男子6人、女子45 人の計51人で活動しています。活 動ペースは月に1度のミーティン グの開催で、その月に参加したボラ ンティアや新しいボランティア情 報の共有などをしています。そして、 ミーティングを終えると参加型で、 大学付近や歩いてすぐそばにある 百道浜で清掃活動をします。



●うきはベース(福岡県)での活動

ボランティアに興味がある人や充実したキャンパスライフ を送りたい人など、大歓迎です!皆さんの入部をお待ちしてい ます。 福岡看護学部看護学科2年

ボランティア部部長 西村 碧

★ ベトナム 「ドック健診センター| 開設式典

ベトナム・ホーチミン市で10月14 日、「ドック健診センター」(国際医療 福祉大学とチョーライ病院の共同事業)の開設式典が開

催された。場所は通常、チョーライ病院の来客でごった がえしている病院正面の駐車場を一夜にして整備、巨大 なテントを吊って、真っ赤なステージ上で、記念のテー プカットが執り行われた(記事は2ページ)。

